

基本方針9 子どもたちの豊かな心をはぐくみます

重点項目29 子どもの成長過程に応じた教育の充実

【目標】

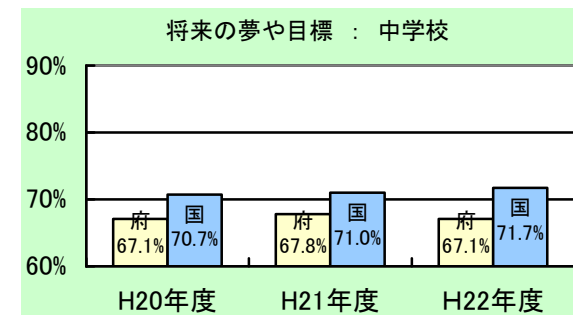
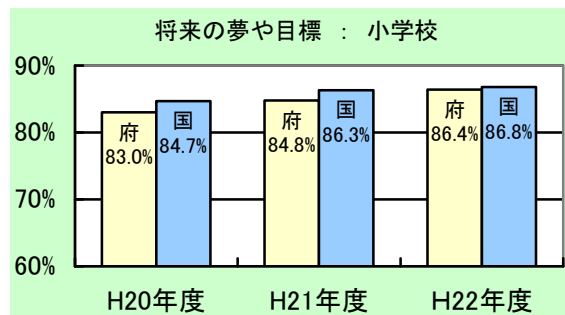
- ・「全国学力・学習状況調査」における以下の項目を全国平均以上にする。
  - ①将来の夢や目標を持っていますか
  - ②自分には良いところがあると思いますか
  - ③難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・生徒の卒業後の進路を確定し、府立高校(全日制)卒業生における「一時的な仕事に就いた者」の数値を「0」にする。
- ・府立高校(全日制)におけるインターンシップ実施率を全国平均以上にする。

【成果（平成21年度末時点）】

全国学力・学習状況調査における①②③の項目について、中学校は全国との差が広がっているが、前年度に比べて小学校は増加し、全国との差が縮まっている。

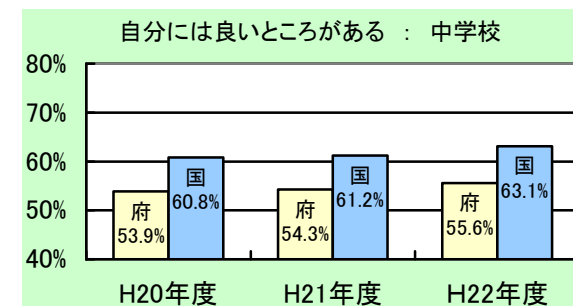
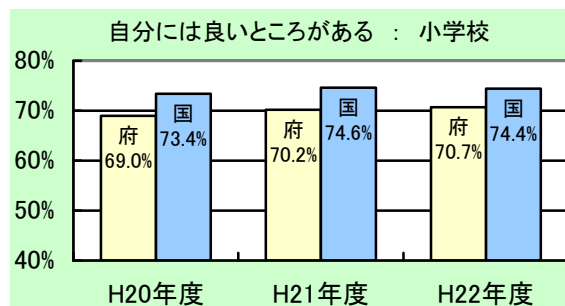
① 将来の夢や目標を持っていますか

	H20年度	H21年度	H22年度
小学校 (全国)	83.0% (84.7%)	84.8% (86.3%)	86.4% (86.8%)
中学校 (全国)	67.1% (70.7%)	67.8% (71.0%)	67.1% (71.7%)



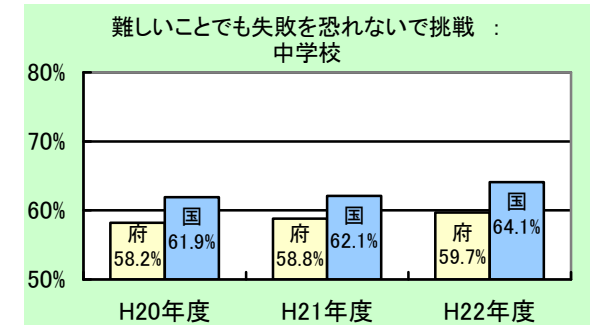
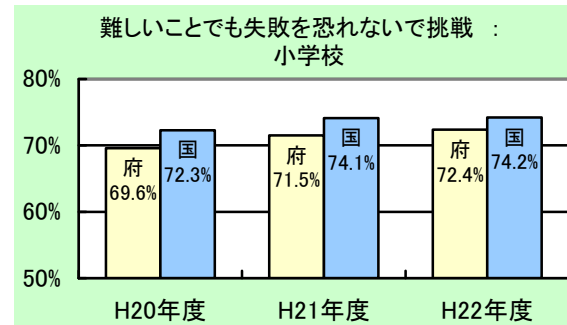
② 自分には良いところがあると思いますか

	H20年度	H21年度	H22年度
小学校 (全国)	69.0% (73.4%)	70.2% (74.6%)	70.7% (74.4%)
中学校 (全国)	53.9% (60.8%)	54.3% (61.2%)	55.6% (63.1%)



③ 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか

	H20年度	H21年度	H22年度
小学校 (全国)	69.6% (72.3%)	71.5% (74.1%)	72.4% (74.2%)
中学校 (全国)	58.2% (61.9%)	58.8% (62.1%)	59.7% (64.1%)



○ 府立高校（全日制）卒業生における「一時的な仕事に就いた者」の数値

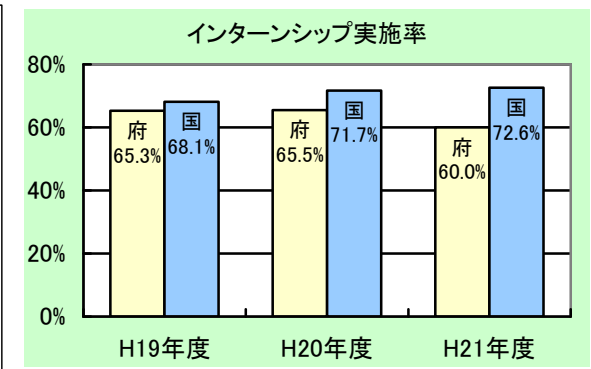
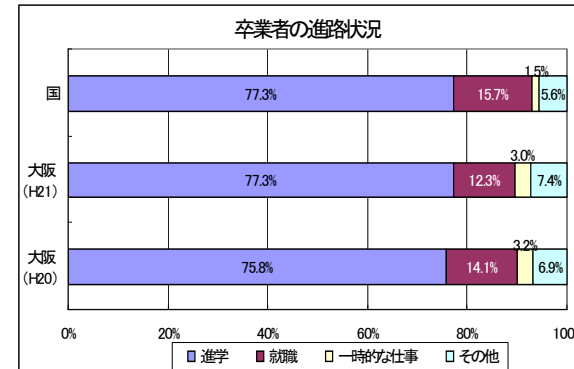
	H20年度	H21年度
府立高校 (全国)	3.2% (1.3%)	3.0% (1.5%)

※全国については、全日制・定時制の参考値  
※文部科学省「学校基本調査」

○ 府立高校（全日制）におけるインターンシップ実施率

	H19年度	H20年度	H21年度
府立高校 (全国)	65.3% (68.1%)	65.5% (71.7%)	60.0% (72.6%)

※国「職場体験・インターンシップの実施状況等調査」



【課題】

- 社会人として必要な規律、規範を身に付け、よりよい社会を創っていく「志」を持つとともに、充実した人生を送るために必要な「夢」をはぐくむ取組みの充実が必要である。
- 小・中・高等学校で一貫して大阪の特色ある取組みを推進するため、指導資料や教師用指導書を作成するなど、カリキュラムや指導資料集の充実が必要である。

【主な取組み（平成21年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21 年度実施事業	
① 志や夢 をはぐく む取組み の推進	「夢や志をはぐくむ教育」の展開	全小・中学校 (H23年度)	—	小：10校 中：6校	○	(新) 志や夢をはぐくむ教育推進事業	「夢や志をはぐくむ教育」のカリキュラムと指導教材『小学校版指導資料集』、『中学校版指導資料集及び教師用指導書』を作成し、全小・中学校へ配布した。 また、大阪府教育センターフォーラムで「志」教育の分科会を開催し、モデル校が取組みの報告を行った。 ②1,970 千円
	「志」学の展開	全府立高校 (H23年度)	—	16校 (推進校)	○	(新) 府立高等学校「志（ころざし）学」研究開発事業	府立高校16校を「志」学研究開発推進校に指定し、教材・カリキュラム等を研究開発するとともに、府内全域の府立高校で展開するために、教師用指導書を作成した。 ・連絡協議会 4回実施 ②1,970 千円
② 道徳教育の充実	実践研究の成果の普及	全小・中・高校 (H22年度)	—	小4校、中2校 高6校 (推進校)	○	(継) 道徳教育実践研究事業	道徳教育の推進のため、12校を推進校に指定し、新しい学習指導要領の趣旨を踏まえた研究を行った。また、その成果を普及するため、府道徳教育推進協議会を開催した。 ・協議会 2回開催 国事業（府 予算なし）
	道徳教育推進教師対象の研修の開催	年間3回実施 (H21年度)	—	2回	○	(継) 道徳教育推進教師連絡協議会の開催	道徳教育の課題と改善の方向性について理解を深め、道徳教育の充実を図るため、道徳教育推進教師連絡協議会を開催した。 ・年間2回開催 ②1 — ②0 —

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21 年度実施事業		
③ キャリア教育の推進	キャリア教育推進地域におけるカリキュラム開発と研究成果の普及	全小・中学校への普及 (H22年度)	—	小学校6校、 中学校5校を 指定	○	(新)発達段階に応じたキャリア教育支援事業	府内3地域をモデル地域として、小・中連携したキャリア教育の推進についての調査研究を行い、その成果を普及するため、41市町村の教職員対象にキャリア教育ワークショップを実施した。	国事業(府予算なし)
	キャリア教育推進研究校を指定し、その成果を普及	全府立高校に普及 (H21年度)	—	10校を指定し、就職支援員を派遣すると共に、その取り組みや成果を全府立高校に普及	○	(新)府立高校就職・就学支援事業	生徒を正規就労に導くため、10校に就職支援員を派遣し、生徒の就職に関するカウンセリングや新規求人開拓、内定取消しへの対応などを支援するとともに、就職に関するタイムリーな情報を掲載したキャリア支援ニュースを配信し、全校に配信した。 ・就職支援員の派遣 全日制 7校 定時制・通信制 3校 年間42回、1回あたり6時間	②7,209 千円
④ 専修学校との連携	専修学校との教育課程上の連携の拡大	府立高校20校 (H25年度)	7校 (連携校18校)	7校 (連携校20校)	○	(継)専修学校と教育課程上の連携に関する調査の実施	府立高校では体験できない学習機会を増やすことにより、学習意欲を高めることを目的に、専修学校との連携を進めるため、府立高校に対して、専修学校との教育課程上の連携状況について調査した。	⑲ — ⑳ —

基本方針9 子どもたちの豊かな心をはぐくみます

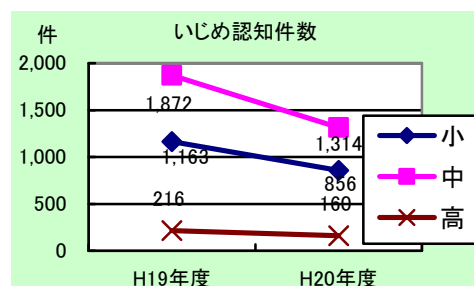
重点項目30 人権教育、障がい者理解教育、国際理解教育、福祉教育の推進

【目標】

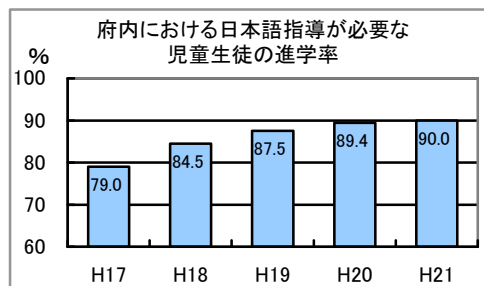
- ・人権課題についての理解を深めるとともに自尊感情を高める取組みを通して、自他の人権を守ろうとする意識・態度や、文化・習慣等の違いを尊重する精神をはぐくみ、人権侵害事象及びいじめ等問題行動を減少させる。
- ・障がいのある子どもと障がいのない子どもが「ともに学び、ともに育つ」ことができるよう、小・中・高校で障がい者理解教育を推進する。
- ・在日外国人児童生徒が自らの誇りや自覚を高め、本名を使用できるような環境の醸成に努める等、指導を一層工夫・改善する。
- ・帰国・渡日児童生徒に対する就学支援及び学習・進路支援等を一層充実させる。
- ・社会の中で、人々が支え合い、生きる喜びを味わうことができるよう、福祉教育を推進する。高校においては、福祉施設での実習等、体験学習の機会を拡充する。

【成果（平成21年度末時点）】

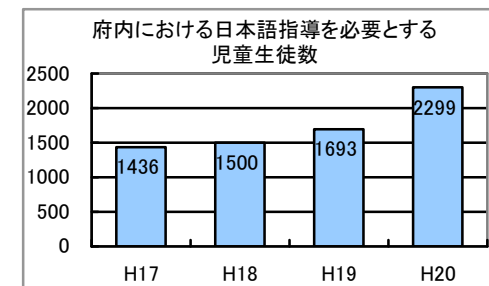
- 小・中・高校において、すべての学校で人権教育推進計画を作成し取組みを進めた結果、人権侵害事象の減少などに現れているように、自他の人権を守ろうとする意識・態度の育成が進んだ。（いじめ件数 平成19年度3251件→平成20年度2330件）
- 障がい者理解教育・福祉教育の推進のための指導資料集の改定を行った。
- 在日外国人教育に資する教材・資料（DVD教材）を作成した。
- 日本語指導が必要な児童生徒の高校進学率が上昇した。（平成20年度89.4%→平成21年度90.0%）
- 福祉・ボランティア教育に取り組む小学校数の増加が見られる。（平成20年度565校→平成21年度576校）。



※文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」



※府教育委員会調べ ※対象は公立の中学校



※文部科学省調査 ※対象は公立の小学校・中学校・高校

## 【課題】

- いじめの認知件数は減少しているが、ネット上での人権侵害など、新たな課題への対応の取組みをすすめる必要がある。
- 障がい者理解教育の推進に向け、改定した指導資料集の活用の促進に努める必要がある。
- 在日外国人教育推進のために作成した教材・資料の有効活用の促進に努める必要がある。
- 近年、日本語指導が必要な児童生徒が増加する中、地域の情報ネットワークを活用しながら受入体制の整備を進める必要がある。
- 児童生徒の福祉マインドを醸成するため、総合的な学習の時間や特別活動等を通じて、体験学習などの充実に取り組む必要がある。

【主な取組み（平成21年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20年度実績	H21年度実績	進捗 状況	H21年度実施事業	
①人権教育の推進	人権教育プログラムに基づいた人権教育の推進	推進 (H22年度)	人権教育プログラム(素案)の作成	在日外国人教育プログラムDVDの作成	○	(継)人権教育フォーラムの開催	人権教育プログラムや教材集・資料作成の中間報告と、人権教育推進に関する講演を行った。 ・平成22年2月実施  ⑳ — ㉑ —
	教材集・資料を活用した人権教育の充実	充実 (H23年度)	—	小学校1～3年生用試行版の作成 人権教育教材・指導案集を作成	○ ○	(新)ワーキング会議等の開催	市町村教育委員会と連携し、教材集・資料案を作成した。 ・年間6回実施  ㉑ —
②障がい者理解教育の推進	障がい者理解教育の実施	全小・中・高校の全学級 (H22年度)	小中：100% 高校：84%	小中：100% 高校：87%	○	(新)福祉教育指導資料集『ぬくもり』の改訂	福祉教育指導資料集『ぬくもり』に障がい者理解教育の進め方や実践事例、また、年間指導計画のポイントを盛り込み改訂し、全小・中学校に配布した。  ㉑ —
	障がい者理解教育の指導計画の作成	全小・中・高校 (H25年度)	小中：100% 高校：—	小中：100% 高校：—	○		(継)障がい者理解教育研修会の開催
	小・中・高校合同研修会の実施	実施 (H21年度)	—	1回実施	○		
③国際理解教育の推進	外国語活動の実施・充実	全小学校 (H23年度)	98.8%	100%	◎	(継)中核教員研修の開催	小学校における外国語活動を円滑に実施・運営するため、各小学校において中核となって外国語活動教育を推進する教員に対し、校内研修の意義や役割、教材作成の方法についての継続的な研修を実施し、小学校外国語活動の基本理念等を習得させ、指導力の向上及び必要な英語運用能力の向上を図った。  ㉑ — ㉒ —

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21年度実施事業	
③国際理解教育の推進	日本語指導対応加配教員の配置	配置 (H21年度)	53名 (45校)	53名 (45校)	○	(拡)日本語教育学校支援事業  日本語指導が必要な外国人生徒が在籍する府立高等学校に対し、教育サポーター等を派遣した。また、「教科学習のための指導資料」を作成し、帰国・渡日生徒等の学力向上を図るとともに、進路情報等の提供を行った。	⑳9,066 千円 ㉑7,648 千円
	教育サポーター登録者数の確保	毎年100名確保 (H21年度)	255名	298名	○		
	教育サポーター派遣回数増加	増加 (H21年度)	23校 (695回)	23校 (585回)	○	(継)帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業  日本語指導を必要とする帰国・渡日児童生徒やその保護者等を対象に市町村との連携のもと、多言語による進路ガイダンス等を実施するとともに、ホームページを活用して8言語による学校での生活や進路情報を提供した。 ・進路ガイダンス 7地区11回実施	㉒1,867 千円 ㉓1,964 千円
	市町村における教育サポーター活用者数の増加	増加 (H21年度)	47名	62名	○		
	進路サポート情報等の言語数の拡充	拡充 (H21年度)	6言語	8言語	○	(新)帰国・外国人児童生徒受入促進事業  帰国・外国人児童生徒に対する就学促進を図るため、支援体制モデルに関する調査研究及び小・中・高校12年間を見通した継続的な就学・進学や学習・生活を支援するための地域・学校での受入体制の整備についての実践研究を行った。 ・「帰国・渡日児童生徒の受入マニュアル」作成 ・受入促進フォーラムの開催	国事業(府予算なし)
	専門員の派遣	派遣 (H21年度)	—	38校	○		
	指導資料等の作成・活用	作成・活用 (H21年度)	—	平成22年3月策定	○		



項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21年度実施事業		
④ 福祉教育の推進	福祉教育の実施	全小・中学校 (H23年度)	小：90% 中：86%	小：92% 中：80%	○	(新)福祉教育指導資料集『ぬくもり』の改訂	福祉教育指導資料集『ぬくもり』を学校がより活用しやすくし、今日的な課題を追加して改訂するため、5回のワーキングを開催した。	⑳ ー
	体験活動に重点をおいた福祉教育の推進	全府立高校 (H21年度)	80%	86%	◎	(継)体験的な活動による福祉教育の推進	総合的な学習の時間や特別活動を通じて、福祉施設へのボランティア体験を広げ、生徒の福祉マインドの醸成に努めた。	⑳ ー ㉑ ー

基本方針9 子どもたちの豊かな心をはぐくみます

重点項目31 読書活動の推進

【目標】

- ・読書が好きな子どもの割合を全国平均以上にする。
- ・全小・中学校において全校一斉の読書活動を実施する。

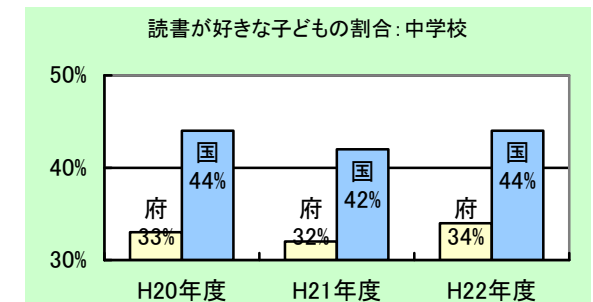
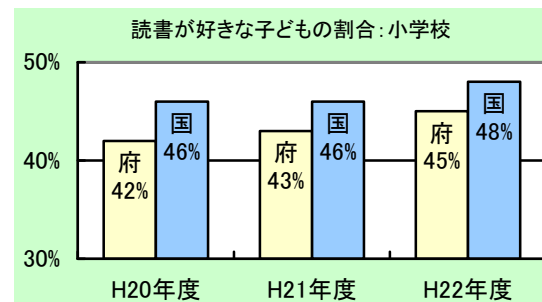
【成果（平成21年度末時点）】

読書の好きな子どもは増加する傾向にあるが、全国平均との乖離は縮小していない。

○読書が好きな子どもの割合

	H20年度	H21年度	H22年度
小学校 (全国)	42% (46%)	43% (46%)	45% (48%)
中学校 (全国)	33% (44%)	32% (42%)	34% (44%)

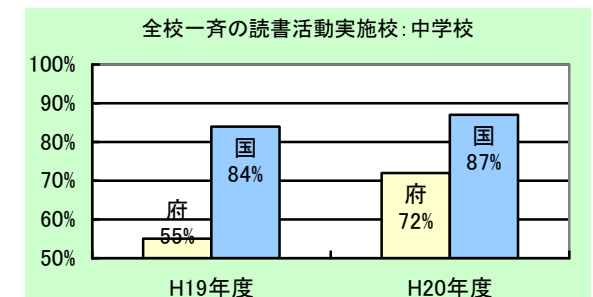
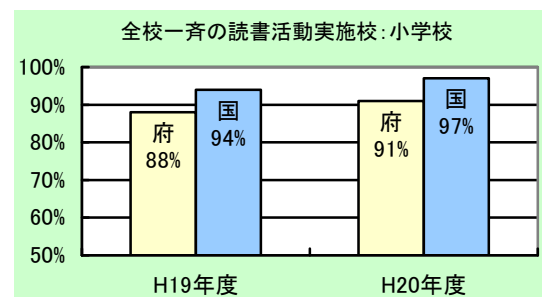
※全国学力・学習状況調査



○全校一斉の読書活動を実施した学校の割合

	H19年度	H20年度	H21年度
小学校 (全国)	88% (94%)	91% (97%)	—
中学校 (全国)	55% (84%)	72% (87%)	—

※文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」  
本調査は平成20年度以降、隔年実施となったことから、平成21年度のデータはなし。



## 【課題】

- 「子どもが興味を持つ本が子どもの身近にあること」「子どもが読書の楽しさを知るきっかけをつくる人がいること」という観点での読書環境づくりを推進する必要がある。
- 公立図書館と学校図書館の連携や学校図書館へのボランティアの活用を進め、子どもたちの学校図書館等の活用を促進する必要がある。

【主な取組み（平成21年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21 年度実施事業		
①子どもの 発達段階に 応じた読書 活動の推進	乳幼児健診等で 保護者と乳幼児 に対して絵本の 読み聞かせや紹 介・講話等の実 施	全市町村で 実施 (H21年度)	95%	90%	◎	(新)ブックス スタート講習会	○保護者への啓発方法等の講習を実施した。 第1回「ブックスタートを考えるー福岡 県小郡市における成果と課題ー」 (参加者：82人) 第2回「赤ちゃん絵本の魅力ーうたう・ つなぐー」(参加者：90人) 第3回「赤ちゃんに絵本をとどけるーよ りよい活動をめざしてー」(参加 者：39人) ○市町村の個別課題の解決に向けたアド バイザーを派遣した(9市へ派遣)。	国 事 業 (府予算 なし)
	「子ども読書の 日」にあわせた 読書イベントの 実施	全公立図書 館・公民館等 で実施 (H25年度)	28%	25%	★ 注1	(継)市町村に 対する啓発や 要望	「市町村立図書館の状況調査」(年1回) での該当イベント数の調査による啓発や 大阪府図書館司書セミナー(6月～9月) でのイベント実施への要望等を実施した。	⑳ ー ㉑ ー
	全校一斉の読書 活動の実施	全小・中学校 (H25年度)	小：91% 中：72%	ー ※	ー	(継)学校図書 館担当指導主 事会	各市町村の図書館教育についての施策 や学校図書館での取組みについて情報交 換を行い、府内の学校図書館教育の充実 に資する(1月、参加者：37人)。	⑳ ー ㉑ ー
	学校図書館の運 営援助に地域人 材を活用 (書架の整理 等)	全小・中学校 (H25年度)	小：9% 中：4%	ー ※	ー	(新)青少年お はなしボラン ティア入門講 座	地域人材を講師として活用することを 契機とし、学校図書館運営への地域人材の 協力を促進するため、青少年おはなしボラ ンティア入門講座(5回連続講座)を実施 した(8月～12月)。 市立中学校4校(参加者：計52人) 府立高校 1校(参加者：11人)	国 事 業 (府予算 なし)

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21年度実施事業	
①子どもの 発達段階に 応じた読書 活動の推進	公立図書館との 連携 (本の貸出、連 絡会等)	全小・中学校 (H25年度)	小：80% 中：49%	— ※	—	(継)中央図書館 における「活用 力・探求力をはぐ くむ」授業づくり 研修の実施	図書館における資料の活用方法の研 修及び資料を活用した教材づくりを実 施した(7月、参加者：46人)。  ⑳ — ㉑ —
②読書活動 に結びつく 実体験(自 然体験等) の推進	公立図書館と連 携した事業の実 施(共催事業・ 連絡会等)	全市町村立社 会教育施設 (H25年度)	10%	10%	★ 注2	(新)市町村での 展開に向けたモ デル事業	府立中央図書館と府立少年自然の家 の連携事業を実施した(絵本の広場、 絵本づくり等)(11月、参加者：9家族・ 26人)。  国 事 業 (府予算 なし)

※出典は文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」である。本調査は平成20年度以降、隔年実施となったことから、平成21年度のデータはなし。

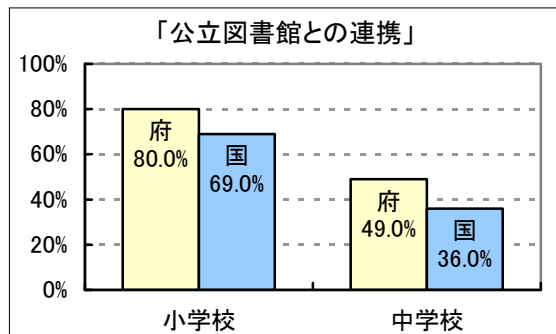
(注1) 公立図書館のイベント実施割合はH21年度で76%であるものの、公民館等の実施割合が約6%と極端に低いことが理由である。今後、市町村教育委員会や大阪府公民館振興協議会に対して、公民館での取組みの実績・内容を周知するなど働きかけていく。

(注2) 青少年教育施設では、読書活動に結びつく実体験(自然体験)活動を展開することは、子どもたちが、読書の必要性和楽しみ方を新たに発見できる有効な方法であるという認識はあるものの、多くの施設では、具体的な参考にするべき実施事例がほとんどないことが理由と思われる。今後、大阪府青年の家等連絡協議会等を通じ、モデル事業などの紹介により、連携事業の割合向上をめざす。

【参考となる指標】 平成20年度文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」より

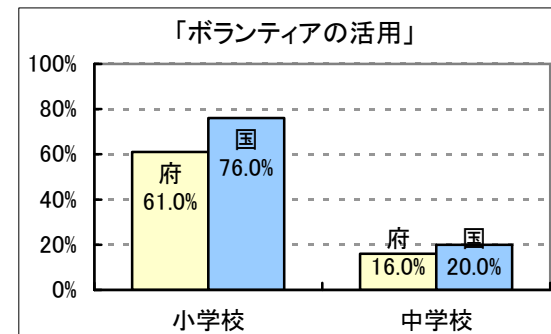
◆公共図書館との連携を実施している学校数 (H20 年度)

- ・小学校 498/623 校 (80%)
- ・中学校 143/291 校 (49%)



◆ボランティアを活用している学校数 (H20 年度)

- ・小学校 383/623 校 (61%)
- ・中学校 47/291 校 (16%)



基本方針9 子どもたちの豊かな心をはぐくみます

重点項目32 社会全体での「こころ」をはぐくむ取組みの推進

【目標】

- ・「こころの再生」府民運動の認知度を向上させ、子どものいる世帯における認知度を30%にする。
- ・あいさつを交わせる社会づくりを推進し、小・中学生が地域の人にあいさつをする割合を100%にする。
- ・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的な回答率を全国平均以上にする。

【成果（平成21年度末時点）】

それぞれの項目で概ね改善されているが、将来の夢や目標を持つ児童生徒の割合は、依然として全国より低くなっている。

○ 子どもがいる世帯における「こころの再生」府民運動の認知度

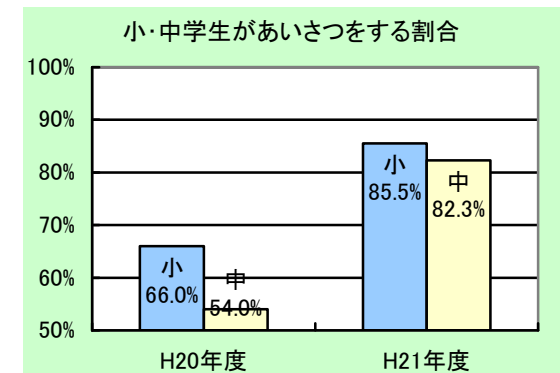
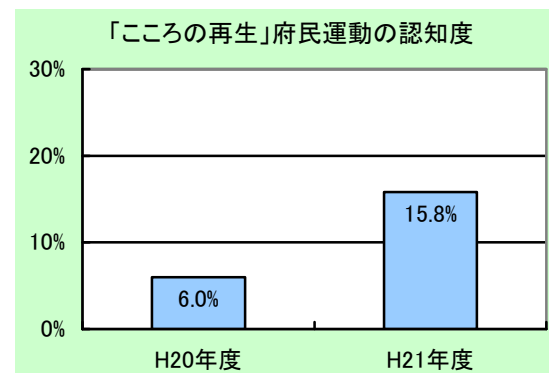
H20年度	H21年度
6%	15.8%

※府「おおさかQネット」等

○ 小・中学生が地域の人にあいさつをする割合

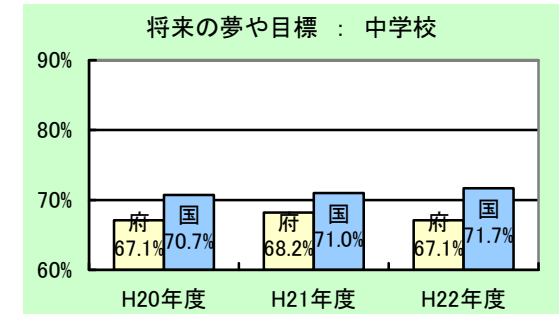
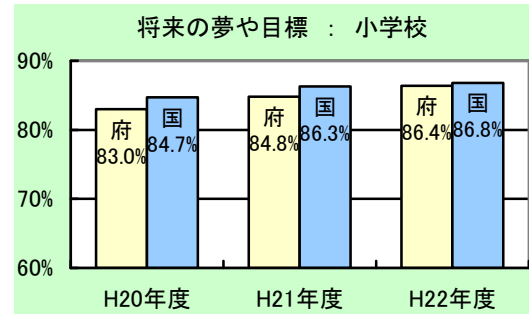
	H20年度	H21年度
小学校	66%	85.5%
中学校	54%	82.3%

※全国学力・学習状況調査



○ 将来の夢や目標を持っていますか

	H20年度	H21年度	H22年度
小学校 (全国)	83.0% (84.7%)	84.8% (86.3%)	86.4% (86.8%)
中学校 (全国)	67.1% (70.7%)	68.2% (71.0%)	67.1% (71.7%)



【課題】

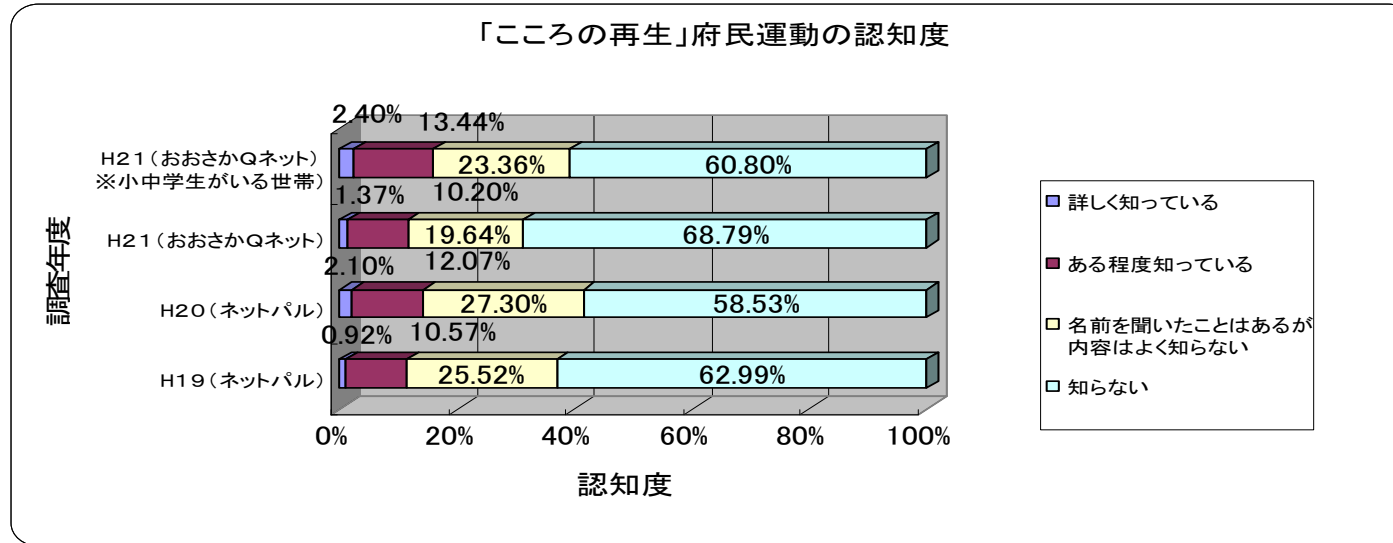
- 「こころの再生」府民運動の認知度を一層高めるとともに、府民一人ひとりの実践につながるよう、効果的な広報・啓発を行う必要がある。
- 大阪「こころの再生」パートナー協定の締結企業・団体の増加を図るため、効果的な周知を実施するとともに、締結企業等の継続的な取組みの支援を行う必要がある。

【主な取組み（平成21年度）】

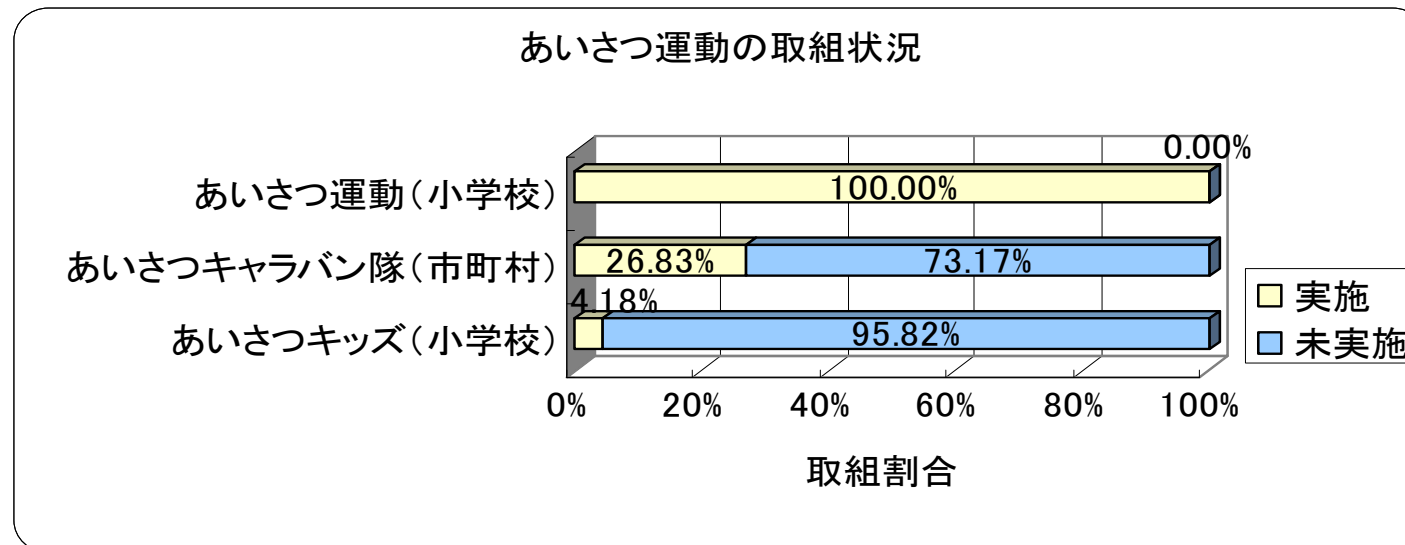
項目		目標 (目標年次)	H20年度 実績	H21年度 実績	進捗 状況	H21年度実施事業	
①「こころの再生」府民運動の推進	全市町村主体の「あいさつキャラバン隊」の活動	活動 (H21年度)	9市町村	11市町村	○	(継)「こころの再生」府民運動の推進  大人も子どもも今一度、「生命を大切にす る」「思いやる」「感謝する」「努力する」「ル ールやマナーを守る」など、忘れてはならな い大切な「こころ」を見つめ直し、毎日の暮 らしの中で一人ひとりできることからはじめ てみることを呼びかけた。 ・ポスター等幅広いPR活動の実施 ・イベントの開催・参加等 (「こころの再生」フェスタ in EXPOの開催(11 月)など) ・府内全公立小・中学校への「のぼり」の配 付等あいさつ運動の推進 ・府立学校における「こころの再生」府民運 動・関連事業表彰式の開催(3月) ・中学校生徒会サミットの開催(10月) ・イメージソングを活用したコーラスレス スン及び音楽祭の開催(3月) ・大阪「こころの再生」パートナー協定制 度の推進(112社・団体) ・子どもファーストディの推進(1222店舗)	⑳1,950 千円 ㉑—
	各学校での「あいさつキッズ」の実施	小学校で実施 (H24年度)	2校	26校	○		
	朝のあいさつ運動の実施	全小学校 (H24年度)	—	622/622校	◎		
	子どもの心を豊かにする教育活動の実施	全府立学校 (H21年度)	— (但し、各学 校から報告の あった数は40 校)	— (但し、各学 校から報告の あった数は28 校)	—		
②子どもたちの自主的・主体的な活動の創造や充実	重点項目 34①参照						
③トップアスリートとのふれあいの推進	重点項目 13⑤参照						



【参考となる指標】



※府「おおさかQネット」等



※府教育委員会調べ

基本方針9 子どもたちの豊かな心をはぐくみます

重点項目33 歴史・文化等に関する教育の充実

【目標】

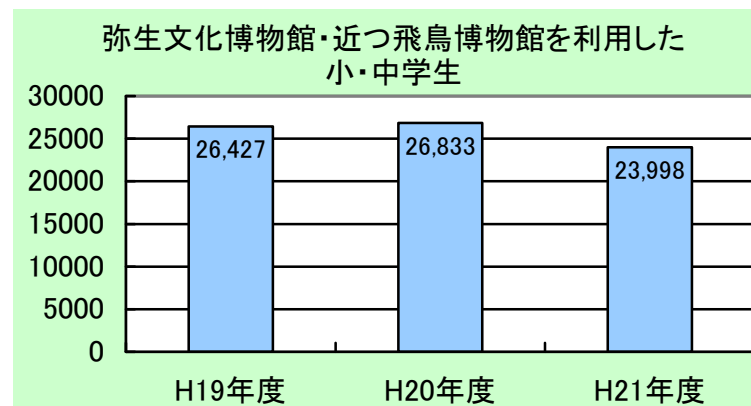
- ・大阪の有する多様な文化財を、地域に根ざした貴重な教育資源としてより積極的に活用することにより、郷土への誇りや大阪の伝統、文化を尊重する心をはぐくみ、子どものアイデンティティ形成等にも積極的に寄与する。  
 (H19：弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館を利用した小・中学生合計 26,427 人  
 → H25：合計3万人以上をめざす)
- ・大阪を代表する文化財である百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた取組みを進める。
- ・文化・芸術を通して子どもたちの心豊かな人格形成を図る。

【成果（平成21年度末時点）】

○ 弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館を利用した小・中学生

	H20年度	H21年度
小学生	26,833人	23,998人
中学生		

※府教育委員会調べ



【課題】

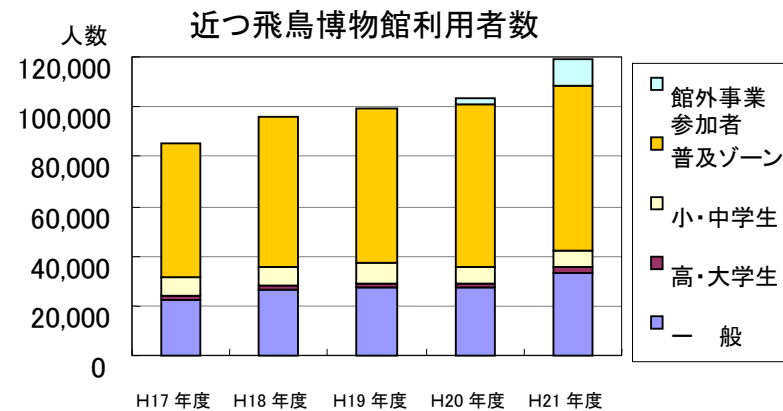
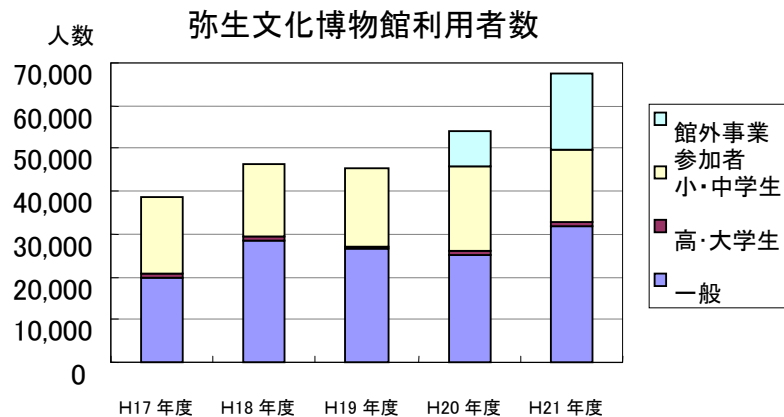
- 府内市町村教育委員会を通じて、小・中学校への利用案内配布を徹底し、学校団体誘致のためのPRを強化するなど、児童生徒の来館を積極的に誘致し、大阪の歴史・文化等にふれる機会を拡大する必要がある。

【主な取組み（平成21年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21 年度実施事業		
① 文化財と 府立博物館 の有効活用	出前授業の 倍増	倍増 (35回→70回) (H22年度)	80回	147回	◎	(継)府立博物館等 の活用	<p>弥生文化博物館や近つ飛鳥博物館等で以下の取組みを行った。</p> <p>①体験学習や実物にふれる等カリキュラムに即したメニューを提案し、出前授業のPR強化を行った。</p> <p>②府立高校の総合選択科目等において連携を強化した。</p> <p>③小・中学校の校外事業の受入れを行った。</p> <p>④小・中学校の教員を対象とした研修の実施及び受入れを行った。</p>	<p>㉑ —</p> <p>㉒ —</p>
② 世界文化 遺産の登録 に向けた取 組みの推進	百舌鳥・古 市古墳群の 世界文化遺 産登録に向 けた取組み の推進	推進 (H21年度)	国の世界遺産 特別委員会に おいて、「世界 遺産暫定一覧 表記載が適 当」との判断 及び課題の提 示	世界文化遺産 登録に向け て、有識者会 議等で課題の 整理・検討中	○	(継)百舌鳥・古市 古墳群世界文化遺 産登録有識者会議 の開催	<p>百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた諸課題の検討のため、学識経験者からなる有識者会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者会議 2回開催</li> <li>・専門部会 5回開催</li> </ul>	<p>㉑945千円</p> <p>㉒ —</p>
						(新)府市合同会議 公開シンポジウム の開催	<p>百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向け、大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市により組織し、府市合同会議、公開シンポジウムを開催した。</p> <p>また、百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値の証明に向けて、中国・韓国など東アジアの類似資産の比較研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府市合同会議 2回開催</li> <li>・公開シンポジウム 1回開催</li> </ul> <p>参加人数約700人</p>	<p>㉑900千円</p>

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H21 年度実績	進捗 状況	H21 年度実施事業		
③文化・芸術 にふれる機 会の拡大	文化・芸術 にふれる機 会の拡大	拡大 (H21 年度)	文楽(大阪本公演)の観客数		○	(継)重要無形文化 財「人形浄瑠璃文 楽」伝承運営補助 事業	国指定重要無形文化財であり、世 界遺産でもある「人形浄瑠璃文 楽」の保存・伝承のため、財団法人文楽 協会に対して助成した。 ・契約技芸員(大夫24名・三味線 19名・人形38名)	⑳21,791 千円 ㉑25,281 千円
			75,795 人	86,544 人				
			文楽(青少年向の公演)の 観客数					
			19,581 人	17,883 人				

【参考となる指標】



※府教育委員会調べ

※普及ゾーンは図書閲覧、風土記の丘出土実物資料をさわれるコーナー、ギャラリー等、自主学习に活用していただく、展示以外のスペース